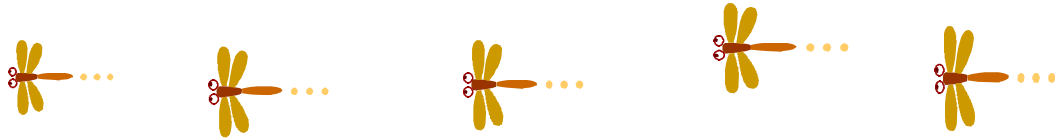


発掘だより 第19号

2006.5

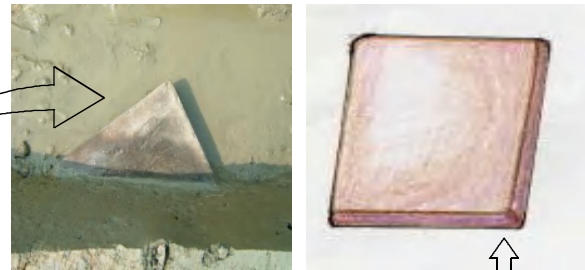
・・・いよいよ、今年度の発掘調査が始まりました！！・・・
今年度は、『勝瑞館跡12次』調査といいます。平成12年度に掘った場所の南東になります。（その年に「会所跡」が見つかり国史跡指定となったんだよ）



そして、人が入って4日目、北の側溝^{そつこう}を掘っていて早くもめずらしい遺物を発見しました！！



「塼(せん)」と言う約30cm四方の平たい瓦です・・・「敷瓦(しきがわら)」のほうがわかりやすい？



こんな感じ！↑

この「せん」は、「瓦」と一緒に西暦588年に百済^{くだら}（今の朝鮮半島）からお寺を建てるために、職人と一緒に伝わったとされています

古いでしょ！！

どんなふうに使われてたの??

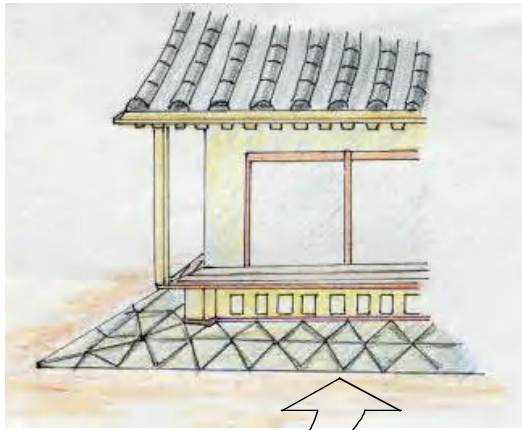
右の写真は、防火と防湿の為に礎石の外側に敷き詰められたもので、高屋城跡で発見されたものです。

ねずみの進入を防ぐ！という
使われかたもあります。

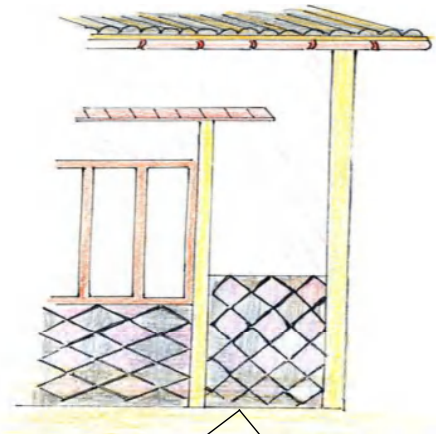


塼貼付建物跡(高屋城跡)

そして、今でも、床板や敷板、外壁に見かけることができます！！



敷板



外壁

☆日本のタイルのルーツだといわれています。

しかし、この「せん・敷瓦」は、地震や台風の多い日本では壊れることが多く、また、高温多湿の気象条件でも呼吸する木の素材に取って代われ、次第に使われることが少なくなったのです。

う～ん！！

じゃあ、何でここから出たの？

茶の湯では今も、釜をかけて湯を沸かす風炉（ふる）の下に敷いたり、釜の下に敷いたりしています。



茶人で有名な三好氏が、風炉の下や、釜の下に使ってた？とか・・・



風炉の下に「せん」



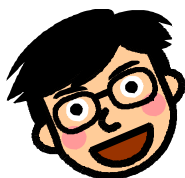
釜の下に「せん」

これからの発掘調査でわかったら、おもしろいね！

by buchi

PS 平成18年度12次調査は、2人の先生の下、20名の作業スタッフ（うち女性5名）、調査員3名、整理作業員3名でがんばっています！！

現場は、入り口からチョット遠いですが見に来てね！



問い合わせ先: あいずみちよう 藍住町教育委員会 社会教育課 しょうじじょうかんあとはつくつげんぼしむしよ 勝瑞城 館跡発掘現場事務所

TEL&FAX : (088) 641-3466
URL : <http://www15.ocn.ne.jp/~shouzui/>
E-mail : syugomachishouzui@air.ocn.ne.jp